

# 【概要版】朝霞市公共施設等マネジメント実施計画（第2期）（案）

## 1. 策定経緯

市が保有する公共施設を持続可能なものとするため、「朝霞市公共施設等総合管理計画」と、その個別施設計画にあたる「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画（第1期）（以下、「第1期計画）」により、公共施設建物系（学校施設を除く）の長寿命化対策のための改修を行っている。

第1期の計画期間が、令和7年度末をもって満了することに先立ち、朝霞市公共施設等マネジメント実施計画（第2期）（以下、「第2期計画）」を策定する。

## 2. 計画期間

計画期間：令和8年4月1日から令和18年3月31日まで（10年間）

## 3. 計画の要点

### 3-1 第2期計画の基本的方針 計画案 P5

第1期計画策定から約5年の経過であること等を踏まえ、第1期計画の大枠は変更せずに策定しました。第1期計画では改修スケジュールの過密化や、施設分類が重複することから当初予定していたスケジュール通りに進める事ができなかった課題を踏まえ、下記の方針のとおり進めます。

#### 方針① 施設健全度、施設重要度から優先度を見直し

- 第1期計画と同じ評価方法で見直します。
- 最新の施設健全度と施設重要度を3段階に分類化し、クロス集計させることにより優先度を総合評価

#### 方針② 実現可能な改修スケジュール

- 第1期計画では改修サイクルの適正運用を優先した結果、改修スケジュールが過密化したという課題を踏まえ、実現可能な改修スケジュールとする。
- 施設分類の重複を回避するようなスケジューリングを行うことで、同種サービスが提供できないようなリスクを防ぐ。
- 財政状況を考慮した改修スケジュールとする。
- 公共施設等総合管理計画には、5年ごとの進捗状況の検証が明記されており、5年後の令和12(2030)年度に改修等の進捗や社会情勢を踏まえ、対象施設の見直しを行う。
- 実現可能な改修スケジュールとした場合、適正な改修サイクルとならないため、延床縮減に向けた対応が求められる。

#### 方針③ 第2期計画中に耐用年数を迎える施設の調査

- 第2期の改修等対象施設ではないが、計画期間中に耐用年数を迎える8施設については劣化状況調査、構造診断などを実施する。
- 調査の結果、施設の使用に支障がないと判断できた場合は、当面の間利用し、その後それぞれの施設が計画対象となった際に改修等を実施する。

### 3-2 第2期計画 改修計画対象施設 計画案 P6

施設健全度と施設重要度を3段階に分類化し、クロス集計させることにより分類化された全9グループのうち、グループ1から4までの14施設について重点的に取り組みます。なお、第2期計画の対象施設は14施設に6施設を加えた20施設を対象とします。

#### ■第2期の改修等の計画（優先順位20施設）

NO	施設名	総合判定	優先順位	改修等の種別	計画期間・事業費(百万円)											合計		
					R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目				
1	消防団第八分団詰所	要調査	1	耐震診断・大規模改修	移転検討中													
2	北朝霞保育園	第1期着手済	2	耐震改修・長寿命化改修	第1期に耐震診断済⇒耐震改修・長寿命化改修の方策について検討中													
3	溝沼複合施設(児童館・保育園・老人福祉センター含む)	グループ1	3	大規模改修	39	196	196											431
4	市役所	第1期着手済	4	長寿命化改修	795	795												1,590
5	朝霞中央公園 野球場	グループ2	5	長寿命化改修	2	31	156	156										345
6	総合福祉センター(はあとびあ)(児童館・老人福祉センター含む)	グループ4	9	大規模改修	75	376	376											827
7	泉水保育園	グループ4	7	長寿命化改修		1	9	43	43									96
8	朝霞中央公園 陸上競技場	グループ2	6	長寿命化改修				2	31	153	153							339
9	栄町保育園	グループ4	8	長寿命化改修				1	8	40	40							89
10	保健センター	グループ4	12	長寿命化改修						4	58	292	292					646
11	特別養護老人ホーム(朝光苑)	グループ4	13	長寿命化改修	第1期に劣化状況調査済													
12	さくら保育園	グループ4	10	長寿命化改修								2	18	89	89			198
13	弁財市民センター(シルバーサロン含む)	グループ4	14	長寿命化改修								2	27	133	133			295
14	宮戸保育園	グループ4	11	大規模改修										10	105			115
15	北朝霞公民館	グループ5	15	長寿命化改修	第2期対象施設													
16	西朝霞公民館	グループ5	16	長寿命化改修	第2期対象施設													
17	南朝霞公民館	グループ5	17	長寿命化改修	第2期対象施設													
18	東朝霞公民館	グループ5	18	長寿命化改修	第2期対象施設													
19	内間木支所	グループ5	19	長寿命化改修	第2期対象施設													
20	溝沼学校給食センター	グループ5	20	長寿命化改修	第2期対象施設													
事業費合計					911	1,399	737	202	82	197	371	918	1,105	327			6,249	

### 3-3 第2期計画期間中に耐用年数を迎える施設への対応 計画案 P8

第2期計画期間中の改修等の対象施設ではないが、第2期計画期間中に耐用年数を迎える施設については、劣化状況調査等を実施し、調査結果で当面の安全な使用が可能と判断される場合は、第3期計画以降に、それぞれの施設の優先順位に応じて改修等を実施することとします。

### 3-4 公共施設再編の必要性と課題 計画案 P31、38

少子高齢化や人口減少の進行により、公共施設の利用ニーズは大きく変化しており、これまでのように全ての施設を現在の用途のまま、維持・運営し続けることは困難となっています。一方で建物の老朽化が進む中で、施設の長寿命化によって延命を図るだけでは、今後増加が見込まれる維持管理費や更新費用に対応できず、限られた財源の中で必要なサービスを持続的に提供することは難しい状況です。

このような背景から、施設の複合化やニーズを踏まえた施設の転用などにより、財政負担の軽減や平準化を図るとともに、地域住民に対するサービス水準の維持を可能とする体制の構築が必要となります。